

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌

重点項目
評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014(ver.1.3)

1 建物概要					
建物名称	フィネス福住ガーデンシティ センターコート	BEE	1.6	BEEランク	A
建物用途	集合住宅	総合評価 ★★★★★			
延床面積	4,205.91 m ²				

2 重点項目への取り組み			レーダーチャート
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	★★★★★	この建物は特に 省エネルギー性能 が優れています
	省資源等	★★★★☆	
	緑化	★★★★★	
	雪処理	★★★★☆	

3. 設計上の配慮事項とCASBEEスコア					
A 省エネルギー			合計	23点	／24点
Q1 温熱環境	スコア	0.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	4.0
Q1 光・視環境	スコア	6.0	LR1 自然エネルギー利用	スコア	1.0
			LR1 設備システムの高効率化	スコア	10.0
			LR1 効率的運用	スコア	2.0
B 省資源等			合計	16点	／23点
Q2 耐用性・信頼性	スコア	1.0	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	5.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.0	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	2.0
			LR3 地球温暖化への配慮	スコア	4.0
			LR3 地域環境への配慮	スコア	3.0
C 緑化			合計	9点	／16点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア	2.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	2.0
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア	4.0			
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.0			
D 雪処理			合計	2点	／3点
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	2.0

4 設計上の配慮事項			
A 省エネルギー ・低炭素建築物新築等計画認定を取得し、日本住宅性能表示基準の省エネルギー対策等級4を満たす程、省エネルギー対策を充実させている。 ・効率の優れた潜熱回収型給湯設備の使用など、省エネルギー効果が期待できる設備を採用している。			
B 省資源等 ・乾式間仕切、断熱材のウレタン吹付等、分別を比較的容易にしている。 ・ODP=0、GWP<10の断熱材を使用している。 ・地球温暖化対策の取組みによりLCCO ₂ 排出率が71%となっている。	C 緑化 ・基調となる樹種は、耐陰性・耐寒性のある常緑針葉樹を用い、冬の緑量確保に配慮している。	D 雪処理 ・敷地内車路・通路をロードヒーティングとし、冬季間の除排雪作業の軽減に努めています。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される